

## 令和3年1月 定例教育委員会

日 時 令和3年1月22日（金）9時30分～

場 所 市役所11階会議室

### 出席者

（教育委員）

西本教育長 中島教育長職務代理者 内海委員 萩原委員 古賀委員

（事務局）

山元教育総務部長兼新しい学校推進室長 松尾総務課長 杉本社会教育課長 嶋田スポーツ振興課長 坂口図書館長 陣内学校教育部長 松田学校教育部次長兼学校教育課長 近藤青少年教育センター長 副島総務課長補佐

欠席者 なし

傍聴者 なし

### 内 容

(1)教育長報告

(2)令和2年11月分 議事録確認

(3)議 題

①なし

(4)協議事項

①なし

(5)報告事項

①令和2年12月定例会における一般質問答弁について

②教育委員会所管の附属機関委員一覧について

③文部科学省 令和2年度社会教育功労者の表彰について

④令和3年成人式典の延期について

⑤令和3年度図書館カレンダーについて

⑥令和2年度市立小・中学校及び義務教育学校卒業式（教育委員会告辞）への出席について

⑦令和2年度あすなろ教室（学校適応指導教室）閉級式について

(6)その他

①次回開催予定について

◆ 教育長報告

- 12月21日 定例教育委員会
- 12月22日 教育委員辞令交付式
- 12月28日 仕事納め式
- 1月 4日 仕事初め式
- 1月 6日 小学校定例校長研修会
- 中学校定例校長研修会
- 1月12日 宮地区複合施設開所式
- 中学校定例副校長・教頭研修会
- 1月13日 教育委員と社会教育委員の合同会

【西本教育長】

おはようございます。では、早速ですが、1月の定例教育委員会を開催したいと思います。

まず私から、先日、予算について市長の査定がございました。その中で、今回、内示を受けているのは101億円強です。それプラス、復活の要求をさせていただいております。それは学校の施設の整備ということで、予算がついていなかったというものがあって、説明をして予算をつけるというのが、大きなのは針尾小学校、日野小学校の二つです。

あとは、説明をしてお願いしたのが立神の音楽室の日本遺産のガイダンス施設というところでございます。それはどうしてもやらせていただかざるを得ない事業としてそれがプラスされていくだろうと思います。詳しくは後ほど市長査定があってから御報告させていただこうと思っておりますが、おおむね我々がお願いしている部分については、要求どおり予算をいただけるかなと思っております。それだけに、非常に厳しい財政状況の中で例年並み、あるいはそれ以上の予算がつくということは、ありがたいなと思っております。

今回、スクールソーシャルワーカーも、去年にプラスして2名ですか。

【陣内学校教育部長】

1名です。

【西本教育長】

1名プラスしていただいたということもありますので、これについてもよかったかなと思っております。それだけに責任も重要じゃないかと思っております。後ほど詳しく説明させます。

それから、昨日ちょっとお話ししましたがけれども、毎日のように小中学校の学校関係者が検査を受けているような状況です。おかげさまで、軽いときにとどまって陰性の報告を受けているので、それを聞いて帰るとというのが日課になっています。

今、こういう状況でございますので、長崎県の特別警戒の警報も出ている、それから佐世保市もフェーズ4という状況ですので、学校関係者にもし陽性者が出れば、ためら

いなく休校にせざるを得ないかなと思っております。そうしないと、悩みを抱えながらケース・バイ・ケースで協議しても、時間がかかって、連絡が遅れるということにもなりますし、御家庭の保護者の方も職場に御連絡したり、自分も休まないといけないというようなところがありますので、そういった状況で、少し厳しめというか、安全対策のほうに軸足を置いて判断したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、レジュメに従って進めてまいりたいと思いますが、まず、（２）令和２年１１月分の議事録については、皆さんに既にごらんいただいておりますが、内容についてよろしゅうございますでしょうか。特に御異論なければ、そのように公表したいと思っております。よろしゅうございますか。

**【全委員】**

ありません。

**【西本教育長】**

今回、（３）の議題はございません。また協議事項（４）もありませんので、（５）の報告事項から入っていきたいと思います。

まず、①です。令和２年１２月定例会における一般質問の答弁についてということでございます。お手元に報告①と書いてございますが、昨年の１２月の議会について答弁をさせていただいております。

内容については、特に問題となるような、議論を要するような話はありませんでしたが、成人式の話が出まして、最終的には延期ということにさせていただきましたけれども、また後ほど報告の中で出てまいりますが、内容について特に御質疑等ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

**【全委員】**

ありません。

**【西本教育長】**

ありがとうございます。それでは、②の教育委員会所管の附属機関委員一覧についてということで、事務局のほうから説明をお願いいたします。

**【松尾総務課長】**

総務課長です。

資料のほうは、事前に配付いたしました資料の右上のほうに報告②と書いてある資料でございます。

附属機関につきましては、教育委員会が各施策を進めるに当たって、それぞれ専門の方に御意見を聞きながら諮問をして答申をいただく形で政策推進のための御意見をいた

だくという機関でございまして、必ず条例に根拠を持って設置するようになっております。

13ページを見ていただきますと、これが、今、教育委員会で持っている附属機関でございまして、一つだけ、学校給食検討委員会だけが、諮問することがないということで、今、メンバーが決まっておりませんが、それ以外についてはメンバーが決まっております。

そのうち、左の四角の中に星印がついている公民館運営審議会と図書館協議会の二つにつきましては、これは教育長のほうに事務の執行が委任されておりませんので、必ず教育委員さんたちの承認が必要ということで、ここのメンバーが替わるときには必ず議題として上げて、皆さんに確認をしていただいているところなんですけれども、それ以外のところは事務局のほうで勝手に決定をいたします。教育委員さんたちになかなか伝わらないものですから、年に1度、1月の定例教育委員会のときにまとめて御報告をするという形を取っております。

中身について一つ一つ説明するのは今回は割愛したいと思います。中身について疑義等がございましたら、各所管課のほうにお尋ねいただければなと思っております。

説明は以上でございまして。

#### 【西本教育長】

この附属機関といいますのは、古賀委員さんも初めてでしょうから、いわゆる一般的に役所がこういった内容について、そこに書いてありますような内容について、一般の人、あるいは専門家の方の御意見を聞きたいということで諮問をするんです。そして、場合によっては答申をいただくというのが附属機関でございまして。市長が設置する場合と、今回上げておりましたのは教育委員会が設置している附属機関についてで、もっとほかにたくさんあるのですが。委員さんの内容については、今、星印については教育委員会のほうの承認を得て委員を決定していて、そのほかについては事務局が「勝手に」と言いましたけれども、いろいろ選考しながら決めることができることになっております。今回、一覧表を作って、年に一度、こういった方々が附属機関の委員さんになっていただいておりますよという御説明をさせていただいております。

内容についてよろしゅうございますでしょうか。

#### 【全委員】

はい。

#### 【西本教育長】

それでは。

#### 【中島教育長職務代理者】

1件いいですか。一覧表の上から6番目の佐世保市青少年問題協議会ですね。この力

ンペでいくと17ページにある分ですけれども、これは以前からいろんなところで話題になっている協議会です。昭和28年の地方云々のときに応じて設置されている会議なんですけれども、ホームページにも書いてあったのですが、去年の11月にこの会の在り方についての話があったと思うんですね。やっぱりこれはいろいろ議論されて、この設立されたときの時代背景とかいうのが全然違いますので、実際この会議が果たして今の在り方でどうなのかというようなことは、当然以前からも、大分前から議論になっていたのですけれども、その11月末の話合いでどういった方向性になったのかをちょっとお尋ねしたいと思いますが、よろしいですか。

【西本教育長】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

青少年問題協議会につきましては、今、中島職務代理者がおっしゃったように、11月の協議会の折に現状についての検討を行いました。なかなか、年に1回の開催であるということと、お話を聞くだけで、活発な意見交換がなされていないという状況が課題として上げられておりました。同様の会議が子ども未来部のほうにもあるということで、今回につきましては発展的にこの会を解消しまして、来年度以降、子ども未来部のほうの協議会に入る形で、そこで言わば青少年に係る問題について併せて協議を行っていくような方向性を確認しております。

来年度、また改めてこの件につきましては協議会を開催しまして決定をしていくということになっております。

以上です。

【中島教育長職務代理者】

ありがとうございます。

【西本教育長】

よろしゅうございますか。

【中島教育長職務代理者】

はい。

【西本教育長】

ほかに質疑等ございませんでしょうか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

よろしゅうございますね。それでは、③です。文部科学省令和2年度社会教育功労者の表彰についてということでございます。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は23ページをお開きください。

江迎町在住の前田アサミさん、84歳になられますが、今回、文部科学省社会教育功労者として表彰されることが決定いたしましたので、御報告させていただきます。

この社会教育功労者表彰は、その趣旨に書いておりますとおり、地域における社会教育活動を推進するために、多年にわたり社会教育の振興に功労のあった者、また全国的見地から多年にわたり社会教育関係の団体活動に精励し、社会教育の振興に功労のあった者などに対して、その功績をたたえて文部科学大臣が表彰されるものです。

被表彰者の範囲としましては、資料の中ほどに記載しておりますとおり、地域における社会教育の振興に功労があった期間が実質年数10年以上になる者などになります。

今回受賞されます前田アサミさんは、4番、受賞者の活動概要に記載しておりますとおり、昭和57年に江迎町の地域婦人会に入会され、その後、婦人会の活動リーダーとしまして、長年、地域に関わる環境問題、健全育成、それから食の安全やごみ減量などの課題に積極的に取り組まれておりまして、地域活性化への功績は非常に大きなものがございます。

また、江迎町の地域婦人会の会長としての活動のほか、交通安全母の会の会長、それから更生保護婦人会、日本赤十字社の会員としまして、学校や防災訓練などに行かれ、精力的にそういう活動を行われておりまして、女性の立場からの意見発信を行っておられます。

また、平成20年から22年までは県の社会教育委員を務められておりまして、そのほか、平成22年には江迎町の教育行政功労表彰と、平成25年には九州管区警察局長による交通安全功労者賞、それから平成30年には教育文化功労の県民表彰を受賞されるなど、数々の受賞歴もございます。

なお、表彰式は、次、24ページに記載しておりますとおり、来月26日に文部科学省において、今のところ開催される予定と聞いておりまして、現時点では前田さんも表彰式のほうは出席される予定と伺っております。

以上でございます。

【西本教育長】

今、報告がありましたけれども、社会教育功労者の表彰について、江迎町の前田アサミさんに受賞していただいたということでございますので、内容について何か御質疑ご

ございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

それでは、④です。令和3年成人式典の延期でございます。今年の1月10日に予定をいたしておりました成人式ですけれども、延期になっております。内容について説明を受けたいと思います。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

資料は25ページをお開きください。既に御案内のとおり、今月10日開催を予定しておりました令和3年成人式典については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みまして、昨年12月24日に延期を発表いたしました。昨年12月21日開催の定例教育委員会の折には、真ん中ほどに書いておりますとおり、フェーズ3では感染症対策を講じた上で開催をする。フェーズ4になった場合は集合形式での式典を中止して、オンライン配信を行う旨の御報告をさせていただいております。

しかしながら、その後、資料の上の部分、四角囲みの部分に記載しておりますとおり、市内で複数のクラスターが発生するなど、市内でも急激に病床使用率が増加しまして、フェーズ3であるもののフェーズ4への移行の可能性が高い状況と判断したこと。また、県から12月23日付で警戒警報が発令されたこと。さらに、延期を希望する市民の皆様の声が多数寄せられまして、併せて長崎市をはじめ県内の複数自治体も延期の対応をしたということもございまして、一生に一度のお祝いのお場を何とか開催できるようにしたいとの思いから、中止ではなく延期という判断といたしたところでございます。

延期発表後の対応としましては、延期の発表をいたしました24日当日に市のホームページでの公表に合わせまして、延期に係る、まず市長のメッセージを発信いたしました。翌25日には、12月1日時点で成人者式典の案内者になります2,388名の皆さんに開催延期のはがきを送っております。その後、今月10日、本来であれば成人式典が開催される予定だった日に新成人の皆さんへの市長からのお祝いの動画メッセージを発信し、昨日、20日付で二十歳の決意、それから式典検討委員による10年後の自分へのメッセージという動画も発信させていただいております。

なお、延期日程に係る今後の検討予定としましては、成人式典検討委員をはじめ、関係者の皆様からの意見を聞くなどを踏まえまして、緊急事態宣言が終了予定の来月7日以降でできるだけ早い時期に決定したいと考えております。

以上でございます。

【西本教育長】

経過も含めて延期の御報告をさせていただきましたが、委員の皆さんから何か御質疑等ございますでしょうか。はい、どうぞ。

【内海委員】

質問ですけど、当日、会場に誰か来たとか何かなかったですか。

【杉本社会教育課長】

当日、時間帯に行っておりましたけれども、やはり晴れ着姿のグループの方が十数名いらっしゃったのと、あと、アルカスの会場の大ホール下の階段の下のところに開催延期という貼り紙をしておりましたら、その横でスーツ姿の男性の方が、お父さん、お母さんと一緒に来られていて、記念撮影をされるという姿が見受けられました。

【内海委員】

何とか軍団みたいな人は来なかったですか？

【杉本社会教育課長】

それが、実はその開催の時間が終わった後に、しばらくたってアルカスの前を通ったら、ちょっと派手目な方たちが階段のところで騒いでいらっしゃいました。その程度でございます。

【内海委員】

ありがとうございます。

【陣内学校教育部長】

せっかく作ったので、のぼりを持ってきてますね。

【西本教育長】

電話があつたんですよ。のぼりも作ったのにと。

【内海委員】

披露したかったんですね。

【西本教育長】

ごめんなさいということで。街もちらほらいらしたみたいですね。

【萩原委員】

晴れ着の方も見ました。



【中島教育長職務代理者】

女の子はね、写真屋さんいっぱい並んでいました。

【萩原委員】

そうですね。

【西本教育長】

これを延期するに当たって、理美容のそれぞれの組合の方とか、貸衣装の方とか、御意見を聞きました。延期は仕方がないねということなんですが、じゃあ、延期されて、いつ再開されるんですかということはお早めに決めて教えてほしいということと、夏の暑いときはやめてくださいとある人が言われまして、それはごもつともですねと。やっぱり晴れ着は暑いので、夏の真っ盛りはちょっと厳しいですねということですが。

一応、うちも今、検討は進めています。2月7日までがいわゆる時短のお願いもしていますので、その状況を見ながら、その後に発表は早い時期にしてあげないと、準備もあるかなと思っていますので。時短の効果というか、そういったものを見極めて、延期の日程は発表したいなと。そのときには、また皆様にもお諮りしながらさせていただくかなと思っています。

帰ってきやすい日程のときとか、おのずと大体決まってくるかな。それと、会場がやっぱりアルカスがよろしいので、アルカスのほうが空いているときということになるかと思えます。

長崎市は来年同じ日に午前、午後と2回続けてするという話なんですけど、それだと、ものすごく、理美容の方も貸衣装の形も大変みたいですね。

【萩原委員】

借りられないかもしれない。

【西本教育長】

うん、数がやっぱりそろわないかもしれないですね。それにしても、また来年以降、使えるかどうか分からないですからね。という話でしたので、また状況を見ながらお諮りしたいと思います。よろしく願いいたします。

次です、⑤です。令和3年度図書館カレンダーについてということです。

図書館長。

【坂口図書館長】

続きまして、報告⑤は26ページ、資料のほうをお願いいたします。令和3年度の図書館カレンダーとなります。

カレンダーの表記につきましては、丸のところが休館日です。四角囲みのところは祝日となっておりますが、ここは開館をする日となっております、令和3年度はトータ

ル302日の開館日となっております。休館日は毎週月曜日となりますので、月曜日が祝日の場合には、祝日明けの平日がお休みということになりますので、ずっと月曜日のところが大体丸がついて、その後、ずれていくという状況です。そのほかに年末年始、12月29日から1月3日及び蔵書点検も休刊日ということで、1月31日から2月7日、ここは連続しての棚卸しの図書整備ということでお休みをいただくようにしております。

今年と違うところは、蔵書点検が今年は12月の頭に実施をいたしております。これはシステムのリプレースの関係で、機器の更新が必要になったことから早まったもので、通常は1月末から2月で実施しておりますので、こちらが通常の休刊日ということで予定をしております。

以上でございます。

【西本教育長】

もう工事は終わったんですか。今年度の工事箇所は。

【坂口図書館長】

天井の工事は、今まだやっております。一応2月いっぱいまでの予定ということで、大駐車場が今使用できませんが、第2のほうで運用しております。平日の混雑はないのですが、やっぱり土日のほうが若干渋滞、並んだりということはありません。しかし、今の時期、来館者が減っておりますので、通常よりは混雑はないという状況であります。

【西本教育長】

本館というか、貸出しとか閲覧には支障はなかったんですね。駐車場だけですね。

【坂口図書館長】

そうですね、はい。

【西本教育長】

名切の再開発の関係で、第2のほうが使えない、それとこの工事は関係ないですか。

【坂口図書館長】

こちらは令和4年度から有料駐車場になりますので、3年度の後半で、図書館の駐車場をできるだけ後のほうに持ってきていただいて、竣工後すぐに使えるようにということで今お願いをしているところです。

【西本教育長】

4年度から有料になります。30分まで無料ですが。

以上について、何か御質疑等ございますでしょうか。

【古賀委員】

早岐公民館はいつまで工事ですか。もう終わりましたか。

【杉本社会教育課長】

社会教育課長です。

2月中旬に工事は完了しまして、それから内部の準備に入りますので、3月上旬には開けたいと思っておりますが、皆さんの待っていらっしゃるお声がどんどん多くなっておりますので、一日でも早く開けられるようにと思っております。

【古賀委員】

今、はまゆう号がストップしているのですが、昨日、「本館で借りれますよ」と言ってくださったので、お邪魔しました。今、30分でお願いしますと言われていたので、急いで、司書の方たちの力も借りたところでした。まだはまゆう号は、今年度はもう運航予定はありませんか。何か2月末までは多分厳しいでしょうということだったのですが。

【坂口図書館長】

市の感染フェーズ状況が今、4ということになっていますので、そのフェーズが引き下げられた時点で再開をしたいということで今考えております。

【古賀委員】

ありがとうございます。

【坂口図書館長】

すみません、御迷惑をおかけします。

【古賀委員】

いえ、とんでもないです。

【西本教育長】

ちょっと蛇足ですけど、例の電子雑誌は、予算はどうだったかな。

【坂口図書館長】

令和3年度予算のほうで、一応今、内示のほうをつけていただきまして、電子図書館ということで、今のコロナ関係で、来館せずに本が見られるような状況をつくりたいということで、3年度から試行的にやりたいと思っております。あくまでも今の状態が簡易な図書、電子図書館的なことで、現在のシステムと別に電子の図書館をつくるというイメージになります。そこが連動していませんので、一旦登録を申請して、申込みをして

いただいて、そこにアクセスをしていただくという、ちょっと一手間がかかります。

5年後にはシステムの改修を考えていますので、そこで連携できるようにと。一つの図書館で検索して、電子書籍も見られるというような、統一した図書館ができないかなということで検討を進めたいと思っております。

3年度からは、大体6,000タイトルの電子書籍を導入する予定で、今、進めているところです。

**【西本教育長】**

ウィズコロナでいろいろと変わりつつありますので、正式に決まりましたら。議会の議決をもらわないと実際の予算は動きませんので、そのときには周知も図っていきたいと思います。

よろしゅうございますでしょうか。

**【全委員】**

ありません。

**【西本教育長】**

それでは、⑥です。令和2年度市立小・中学校及び義務教育学校卒業式（教育委員会告辞）への出席でございます。

学校教育課長。

**【松田学校教育課長】**

説明いたします。当日配付資料の1ページです。今、教育長がおっしゃっていただきましたように、令和2年度の卒業式、卒園式の出席についてお願いでございます。卒業式の日程は、中学校と義務教育学校の後期課程3月16日、3月18日が小学校、3月19日が幼稚園ということで、今、計画しております。今、フェーズ4ですので、実施についてはまだ流動的ではあるのですが、出席の計画については今の段階でお願いをしておきたいと思っております。御報告をさせていただくものでございます。

御覧のように小学校につきましては、中島代理様は山手小学校、中学校は鹿町中学校、内海委員様、清水小学校、浅子小中学校、萩原委員様、世知原小学校、相浦中学校、古賀委員様、港小学校、宮中学校という形でお願いをしたいと思っております。ただ、2月7日までが警戒期間ということで、そこを境目に検討いたしまして、告辞をペーパーでお配りするにとどめるかどうかということにつきましては、今後検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

**【西本教育長】**

毎年、これが開かれればいいなと思っております。去年は辛うじて卒業式、入学式も開い

ていただけなのですが、入場制限もあって、事務の方もおらず、減らした形ですね。去年、卒業式に行かれましたかね。行っていないですね。今年はできれば行ってほしいなという希望的な観測をしています。

【内海委員】

私はラストイヤーなので。

【西本教育長】

去年どうだったですかね、卒業式は。

【内海委員】

ぎりぎりで開催でした。

【陣内学校教育部長】

実施は流動的ということで、今、お話を事務局のほうから差し上げましたが、卒業式は実施いたします。流動的というのは、私たちが参加するかしないかが流動的ということです。昨年度は全国一斉の臨時休業が、要請が3月2日からございまして、卒業式の時も学校が原則休校状態でしたが、卒業式だけはいたしますという形で卒業式だけをしました。今年度は休業さえなっていなければ、通常というか、参加制限とかは当然あるのですけれども、卒業式自体は実施します。私たちの参加が流動的だと。

【西本教育長】

よろしゅうございますでしょうか。はい、どうぞ。

【中島教育長職務代理者】

先ほども、幕間に委員さんのほうからいろいろ御意見なんかを伺ったので、今言った流れでは理解できるのですけれども。実際、僕もどうなのかなと、非常に最後の学校の大きな行事ですので、いろんな形でできるだけと。実施はするにしてもですね。各学校来週ぐらいから、早いところは実際の大きな枠組みを決めて練習に入っているみたいですしね。

幾つかちょっと僕も気になったのは、この前の1月13日の社会教育委員会との合同会の中でも、山本委員さんが、卒業式は大声を出すわけでもないし、一切しゃべらないのだから、できるだけ参加もさせてほしいなということも言われたし、一方において、今年1年間、やっぱりその声というのは、僕も今年は結構学校にたくさん行きました。やっぱり非日常があるんだろうなと思って、いろんな行事で、どんなふうに行っているのかなと思ったら、やっぱり来賓とか地域の方が参加される場面というのはほとんどないんですね。

学校としては、いろんな面で3密を避ける云々なことで、そもそもの来賓、地域の方

も自ら御遠慮して、ちょっと迷惑になるからと、ほとんど行かれない。今度もやはりいろんな学校に聞いてみれば、ある程度来賓も制限をするような形にしている。学校によっては多分ほとんど呼ばないような形になるだろうということで今準備を進めているそうなんです。

そういった中で、果たして我々が行くのがどうなのかと。もちろん、来賓と我々の告辞は立場が全然違いますので異質なものですけれども、ただ、一般的な市民の方々からの感覚的なものはどうなのかと。これもちょっと、去年、御意見箱の中にも、この教育委員会の告辞そのものについて果たしてどうなのかというようなことがありました。まあ、いろんな方がおられますので、やっぱり要・不要まで言われるところがあって。それなりに一定の、こういったことで教育委員会としての告辞を言っていますということで、きちんとした回答で答えられているのですけれども、特に今年はそういった意味で、できるだけ制限をかけている中で、我々が出席するのが果たしていかがかと。

プラスの面もあると思うんですね。やっぱり本来あるべきです。でも一方で、ぐっと制限、制限って、学校もこの先は準備に入っているわけだから、そこでやっぱり変えなきゃいけないし、これをやっぱり計画する、しないでは、ものすごく大きなエネルギーもあるし、今後ですね。

だから、どうなるかなと。果たしてこれをやるという方向で計画、もちろんこういうふうには計画されるのは、当然どっちでも転べるのですけれども、果たして今年、教育委員会告辞が、どういうふうにはなっているか分からないのですけれども、実際卒業式が動き出している中で参列するというようなことがどうなのかなという気も個人的にしたので。

非常に複雑な思いがあって、今年はどうなのかなという気がするし。将来的にこの告辞の在り方もやっぱりちょっと考える時期に来ているかなというのは以前から考えていたので、ほかの委員さんからもし御意見があれば聞きたいなと思ひまして。私はあくまでも学校の立場の人間だから。複雑ないろんな御意見があると思ひますので。これは考える一つのポイントかなと思ひているんですけどね。

#### 【西本教育長】

今、中島委員から、問題というか提起がなされましたけれども、それぞれ委員さん一まず、この告辞そのものはどういう位置づけになっているんですか。

#### 【松田学校教育課長】

学校教育課長です。

一方で市長さんや副市長さんが来られて、PTA会長からも祝辞というものがあるのですが、教育委員会として、子供たちが6年間、または9年間、学業を修めたということに対して、一種、はなむけであったり、将来的にこういうふうには頑張ってほしいという指針であったりという、言わば指導的な部分は若干入っているかと思ひます。

【西本教育長】

法的にどうのこうのということではなくて、任意的なものとして教育委員会としてのねざらいみたいな感じのあれということになっているんですよ。

【松田学校教育課長】

そうですね、ねざらいといいますか、はなむけというような意味合いももちろんございます。

【陣内学校教育部長】

学校教育部長です。

告辞というものの自体は法的なものは全くありません。これが「示」すほうになれば法的なものなんですけど、「辞」ですから、言葉のほうで、全く法的なものではございません。慣習的なものです。

以前、私も調べたことがございます。昔はどここの市町もしていた。だんだん市町が拡大していく中で、例えば長崎市等はもう学校数が100を超えておりますので、実際に今は行かれておりません。そういう状況ですね。「よく佐世保市はみんな行ってらっしゃいますね」と、逆に長崎市から言われました。

確かに、昔からあった形が残っているのですが、職務代理からあったように、実際、保護者とか子供たちにとってどうなのかという部分も考えると、見直しもやっぱり必要な時期なのかもしれないと思っています。

ですから、皆さんの御意見をここで聞かせていただくのは大変ありがたいので、ぜひいろいろお考えを聞かせていただければ。

【西本教育長】

今、説明があったように、やっていない自治体もあるということの中で、法的なものがないので、協議、ウィズコロナ、それからアフターコロナを考えて、この告辞が続けていくのか、やるのか、やめるのかというのはちょっと考えていかないといけないかなと思います。今日、結論はちょっと出せませんが、意見だけちょっとお聞かせいただいで、次回の――前期のときでも間に合うんですよ。今年度はこれでいく、来年度からどうするかとか、そういったことになってきますよね。

【陣内学校教育部長】

学校には連絡もしているんですか。

【松田学校教育課長】

まだしていません。

【陣内学校教育部長】

いつ頃の予定ですか。

【松田学校教育課長】

できたら、2月の頭にはと思っています。もう準備に入ってるしゃいますので。

【内海委員】

2月の頭で間に合いますか。

【中島教育長職務代理者】

公立入試が2月の3、4にあるでしょう。その後ぐらいに実際の練習に入るので、今、枠を考えているみたいですよ。だから、来年を外す云々というのは、告辞を外すのはそう大きな動きじゃないけど、こっちの準備もあるでしょうから。

【西本教育長】

来賓の出席については状況を見ながらと、学校も悩んでいるところでしょうけれども、それはそれとして、告辞とか祝辞とかとなったら、少し、市長まで巻き込まないと決められないところがあるので。

【内海委員】

祝辞か。

【西本教育長】

今年度結論を出すのはあれですが、ちょっとお考えいただいて、もし、コロナがなくなってもということになって、例えば祝辞をやめてくださって三役に、例えば告辞はやめましたけど、祝辞は続けてくださるとかっていうことも、いろいろバリエーションもあり得るので。

【中島教育長職務代理者】

そこは切り離して考えたほうがいいと思いますよ。その告辞をどうするかというところは。祝辞というのは全く別ですから。サイドが違いますので。

【西本教育長】

設置者として、市長なんかは、行きたいと思ってらっしゃるかもしれないけれども。

【中島教育長職務代理者】

祝辞はいいと思いますよ。来られてね、子供たちも喜ぶし。

【西本教育長】



ちょっと宿題ということで考えさせてもらって。うちもちょっと調べさせてもらって。結構、動員数がたくさん要りますよね。

【萩原委員】

そう思いました。

【西本教育長】

我々だけならいいですけど。

【萩原委員】

清水小学校から昨日お便りが来ました。地域の者に来たんですけど、制限を、5年生と6年生の保護者だけにしますからというのでお知らせが来ましたので、今年はこれはないんだなと思っていたら、計画ができていたのですけれども。

恥ずかしながら、私も一般保護者のときには告辞に来られる方がどういう方か全く知らなかったです。ここに来させていただいていろいろ分かって、あ、教育委員会として子供たちにきちんとお示しする、みんながこういうふうに行っているんだなということを知りながら知りました。

だから、本当にもう少し、いろんなこういうときにお考えになってもいいんじゃないかなというような気はしております。地域の方も制限される中で、私たちが行くというのも、地域のほうが行ったほうが本当は親近感があるんじゃないかなという気もするし、少し考えてもいいかなと思っております。

【西本教育長】

内海委員さん、何かありませんか。

【内海委員】

個人からすると、私はすごく勉強させてもらったというか。原稿をただ読むというのは私の信条からするとない。最初渡されたときに、「内海さん、原稿どおり読んでください」と言われたのがすごく、「アドリブ駄目ですか」と言ったら、「駄目です」と言われて。私はアドリブを必ず入れるんです。原稿を読むことを実は東京に勉強に行きました。ボイストレーナーもつけて練習して、ああ、奥が深いなと勉強して。私、教育委員になっていなかったら、そういう勉強をしないまま一生終わったと思うのですけど。だから、個人的にはすごく勉強になりました。

ただ、本当に、中島さん、萩原さんが言われたとおり、子供たちにとって、地域の方にとって、果たしてどれだけその告辞というのがメッセージとして伝わるかなと思うと、やっぱり厳しいかなと思っています。だから、最初の1年目、2年目は頭をかしげながら、3年目、4年目になると、もう慣れて、それが当たり前になってきているということの中で、今日おっしゃって、ああ、そうだよなと。だから、世の中がこんなに変わった

ていっているのに、変革していくことの大事さと、もう一つは、歴史の中で積み重ねてこられたというのもまたもう一つあるんじゃないかなと。

だから、私の中には今、半分半分ですね。どっちというのはないんですけども、個人的には大変勉強させていただいたというのをお伝えしたいと思っております。いや、本当に冷や汗をかく場面ですよ、あれは。

【西本教育長】

古賀委員さん、何か。

【古賀委員】

私はボランティアの立場と保護者の立場でお話しさせていただきたいのですが、ボランティアの立場では、去年もなかったので今年もないと思うんですが、ありがとう集会というのを小学校でもしてくださるんです。地域の方とか、お世話になった方々に子供たちがお礼の集会を開いてくれるときに、ステージに上がってくださいと言われて上がるんですけど、やっぱり結構な人数の方が上がられて、地域の方も。これだけの方々に守られて生活ができているんだと、子供たちが体験して、直接お会いして、分かる機会なんです。やっぱり卒業式も、在校生にとっては、来賓者の方々を見て、「あ、こんな人たちに守られているんだ」というのが目に見えて分かる機会でもあるのかなと、私も含めて思いました。

保護者の立場としては、去年、卒業したのですが、人数も制限して、来賓者も少なく、声も発せず、歌も歌えず——校歌は歌ったりしたんですけど、マスクをして歌ったんですけど。そうすると、ブラスバンドの演奏とかもなく、とっても静かな卒業式で、拍手をもってとなるんですけど、人数制限がかかっているの、何かぱらぱらでとても寂しいなと。上の子の時からしたら、在校生の拍手の音とか来賓者の拍手でお祝いしてもらっているというのが、ぱーっと盛り上がるんですけど、それがほとんどなかったです。やっぱり、来賓とか在校生が参加できないというのはちょっと寂しいなというのは実際感じたので、地域の方も含めて、来賓の方はいてくださると、やっぱり保護者としてもうれしいなというのは思います。

告辞を読むということに関しては、やっぱりそのときにしかお会いできない人も、私はまだ読んでいないですけど、そういう方がいて成り立っているんだなというのが、その小学校も含めて、中学生も分かるんじゃないかなというのはちょっと思いました。

【西本教育長】

二つというか、切り分ける必要があるのは、やっぱり今おっしゃったように、卒業式ははなむけというか、そういうものがあるし、「あ、見守りのおじさんとおばさん」とかいったこともあったりして、もしコロナがなければ、来賓の方、多くの方にお祝いをさせてあげたいというのはあります。地域の方々も含めて、日頃お世話になっている方々には子供たちの巣立ちを見ていただきたいという気持ちがありますので、もしコロ

ナがなければ、多くの方に見送りをさせていただきたいと。

今回、コロナがあれば、人数制限はどうしてもせざるを得ないということはあるかもしれない。それと切り離して、今度は告辞とかそういったものが本当に壇上に立って話をするべきかどうかというのは、やっぱりちょっと考えていかなければいけないのかなと思います。

内海さんがおっしゃったように、私も初めての時、ものすごく緊張をさせていただきました。私はアドリブを入れる力がないので、ちゃんと読みますけれども、やっぱりセレモニーとしては非常に感動をした記憶があります。読まないにしても、出席、参列はさせていただければ、学校のありようというか。

ハプニングというか、サプライズを結構楽しみにしているところもあったりして、一員として参列するというのは、異論ないところです。告辞についてはもう少し勉強させていただきたいと思いますので、今年度は、よろしければこれでいかせていただいて、来年度以降、どうあるべきかというのはちょっと考えていこうかなと思いますが、よろしゅうございますか。

#### 【全委員】

ありません。

#### 【西本教育長】

次です。⑦です。令和2年度あすなる教室（学校適応指導教室）閉級式についてということ。センター長。

#### 【近藤青少年教育センター長】

事前配付資料27ページ、報告事項⑦令和2年度あすなる教室閉級式について報告いたします。

実施要項にありますように、通級児童生徒一人一人の成長を認め、自信をつける機会にするため、2月17日水曜日10時より、本年度のあすなる教室の閉級式を予定しております。センターといたしましては、通級児童生徒の中には、なかなか卒業式とか終業式にも参加できない生徒もいます。この閉級式が一つの節目であり、または子供たちにとっては自信をつける場でもあり、または我々にとっては後押しをする場でもあります。センターとしてはできるだけ実施をしたいと考えておりますが、県内に特別警戒警報等が発令されておりますので、最終的に2月7日以降に実施するかどうかの協議をいたしまして、決定をさせていただければと思っております。また、実施ができない場合には、臨時の担任連絡会を実施して、児童生徒、そして保護者、担任との面談を行いまして、卒業式や修了式への参加を含め、学校復帰、進学、進級につなげていきたいと考えております。

以上で報告を終わります。よろしく願いいたします。

【西本教育長】

あすなる教室の閉級式の日程でございます。これも状況を見ながらということになるかと思えますけど、よろしくお願ひしたいと思ひます。あそこ、場所が狭いので、非常に密になりますね。よろしくお願ひします。

その他でございます。その他の案件ですが、まず、次回の開催予定を事務局のほうからお願ひいたします。

【副島総務課長補佐】

次回ですけれども、2月の前期会ということで、日程といたしましては、2月10日、9時30分からということです。会場はまたこちらのほうの11階の会議室でお願ひしたいと思います。

定例会ですけれども、今のところ2月24日ですね。先日、LINEのほうで開始時間のほうを午後に変更させていただきたいということで御照会をさせていただきまして、2月24日の午後、恐らく開始は2時前後になると思われそうですが、ちょっとまだ、調整の上、文書等でお知らせを差し上げたいと思ひます。会場ですけれども、当日、指定校の表彰ですとか学力会議が併せて行われますので、総合教育センターのほうでお願ひしたいと思います。

日程については以上でございます。

【西本教育長】

ただいま御説明がありましたけれども、開催予定の日程はよろしいですか。  
学校教育部長。

【陣内学校教育部長】

すみません、1点、恐らく2月の後半に県費負担の教職員の人事異動に関する秘密会のほうを開催させていただくことになると思ひます。日程につきましては、まだ県のほうとの協議が終わっていませんので、後日、連絡をさせていただきますが、2月の末に入ってくるということで、すみません、よろしくお願ひいたします。

【西本教育長】

臨時教育委員会になろうかと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

以上、日程は終わりましたけれども、あと、社会教育課後援行事とかはよろしいのですか。

【杉本社会教育課長】

配付だけです。

【西本教育長】

一応日程だけをお知らせしておくということですね。

【杉本社会教育課長】

はい。

【西本教育長】

そうしましたら、記載のとおりということでよろしく申し上げます。

それでは、一応全ての議題や報告事項が終わりました。委員さんのほうからほかに何かお話があればしていただきたいと思えますけれども、何かありますか。

【古賀委員】

すみません、入学式も何か出席の情報があれば。

【西本教育長】

入学式は……。学校教育課長。

【松田学校教育課長】

学校教育課長です。

入学式は（教育委員の出席は）行っておりません。卒業式だけです。

【古賀委員】

分かりました。

【西本教育長】

ほかにありますでしょうか。よろしいですか。

なければ、以上で終わりたいと思えます。コロナの関係で、教育委員会所管の施設ですが、感染症対策については万全を期してくださいと、参加するというか利用される方にはお知らせをしておりますして、閉館とかはしておりません。スポーツ施設も8時までとかいう縛りはかけておりませんので、自主的に取りやめられるところが多いですけれども、施設自体を閉館とかいうことにはしておりません。もしお問合せがあったら、そういうふうにおっしゃっていただいて、感染症対策を万全にしてくださいねとお伝えいただければと思えます。

よろしければ、以上で終わりたいと思えます。それでは、1月の定例教育委員会を閉じさせていただきたいと思えます。お疲れさまでした。

【全委員】

ありがとうございました。

その後、次回開催予定日を確認し、終了。

----- 了 -----